

北海道

南大会出場校

小樽潮陵

3年ぶり18回目

小樽水産

3年連続5回目

(出場回数は1959年の南北大会分を離以降)



小樽潮陵—北照 7回表小樽潮陵2死満塁、五十嵐の二塁打で一塁から三塁に進んだ走者原田は、相手野手が送球に手間取る間に本塁を陥れる。捕手川口＝小樽桜ヶ丘

ピンチも堂々 精神面成長



力投する小樽潮陵の原田
洸太投手＝小樽桜ヶ丘

小樽潮陵 原田洸太投手

強打の北照を7回5安打の2失点に抑えて、コールド勝ち。小樽潮陵の原田洸太投手(3年)は最後の打者を打ち取ると、小さなガッツポーズを見せた。両者は昨夏の地区代表決定戦でも対決した。先発は、ともに2年生だった潮陵・原田、北照・斎藤綱記の両投手。北照は途中から



3年のエースが救援、3人で競り勝った。それから1年。同じ先発投手がマウンドに立った。「通用する」という自信が、原田投手にはあった。昨夏は3点取られたが、今春の地区大会は2回3分の2を投げて被安打1。「得意のスライダーはフルスイングされた記憶があまりない。相性がいいのかも」。言葉通り、強打者のタイミングをうまく外した。「昨年は平常心で投げようとしてもドキドキしていた。今年はピンチでも堂々

「今日は自分の心の弱さが出た……。それだけです」。エースで主将の斎藤綱記投手(3年)は、そう言いつて涙をこらえた。同点の7回、ポンポンと2者を三振に取ったが、その後、連打と暴投で一、三塁に。次打者は三遊間への緩いゴロ。遊撃手がどこにも投げられずに安打となり勝ち越しを許すと、そこから2安打2四球に暴投が絡んで、まさかの大量失点。「斎藤投手は調子が悪いにがはなっていた。7回はツアアウトを取って安心したわけじゃないんですが……」と、川口祐也捕手

第96回 地区大会

全国高校野球選手権

7回2死から7失点



涙でベンチへ戻る北照の選手たち＝小樽桜ヶ丘

南北北海道大会は2日、空知地区が開幕し、5地区で16試合があった。小樽地区では小樽潮陵が昨夏の北海道代表で、今春、金道優勝した北照をコールドで破り、南大会出場を決めた。小樽水産も南大会への切符を獲得。空知では初出場のクラーク国際が奈井江商・月形・深川東の連合チームを下し、公式戦初勝利を挙げた。札幌新川は札幌静修を延長戦の末に破った。3日は札幌、旭川など4地区で15試合がある。

北照、コールドで敗退

南 小樽

▽Aブロック代表決定戦

小樽潮陵 010 010 7|9
北照 101 000 0|2
(7回コールド)

【小】原田一五十嵐【北】斎藤一川口
困五十嵐(小) 国三葉(小) 五十嵐
(小) 川口、土門(北)

①…小樽潮陵は7回2死から5安打を集中させた。主戦原田はスライダーを武器に好投、4番五十嵐は本塁打を含め3安打3打点。北照は5失策と乱れた。

▽Bブロック代表決定戦

倶知安 000 120 100|4
小樽水産 003 020 31|9

【倶】渡辺任、平野、松本、片桐一沖
田【小】柴田一村井恭 加藤(倶) 柴田、平野、奈良(小)

②…小樽水産は5回、2死から連打で勝ち越し、その後も着実に加点。倶知安は4投手が継投したが流れをつかめなかった。

南 札幌

▽Dブロック2回戦

国際情報 310 010 000|5
立命館慶祥 021 002 02|7

【国】小野、松本一門【立】八十科、
高氏一井村 池、門、後藤(国) 高氏、細野、小林、堀田(立)

▽Aブロック3回戦

札幌新川 100 020 023 01|9
札幌静修 210 101 120 00|8
(延長11回)

【新】宮部、庄司、吉尾一佐藤【静】
佐々木、今田一米沢 岡田(静) 佐藤、久原2(新) 菊地、高岡(静)

▽Aブロック3回戦

札幌北陸 000 404 1|9
札幌真栄 100 010 0|2

【北】高橋一阿部【真】大平、山内一
山内、桃井 河原木、高岡(北) 小林
(真)

▽Fブロック2回戦

札幌北 000 000 20|2
北広島西 300 032 01|9
(8回コールド)

【札】中村、中山、安齊一八和田【北】
柳谷一本馬 八和田(札) 池田、長谷川(北)

▽Fブロック2回戦

札幌北 001 103 000|5
庭北 000 400 002|6

【札】香川、星山一中島【庭】大森、
上小倉一大黒 困中島(札) 大森(庭)

▽Gブロック2回戦

札幌平岡 000 001 001|2

朝日新聞
北海道支社〒060-8602
札幌市中央区北2条西1-1-1情報係
北海道報道センターへ
hokkaido@asahi.com電話
011-222-1601
ファクス
011-221-4989購読・配達
・お申し込み
・お問い合わせ
電話
0120-33-0843
(7~21時)

(小西淳一)